



パトラン 通信

2017年度レポート



2017年のパトラン

2013年1月からパトランを開始してから5年目を迎えました。展開地域は29の都道府県となり、チーム数では、新たに2つのチームが立ち上りました。チーム登録、個人登録メンバーを合わせると1,000人を超えるメンバーが在籍しています。

●パトラン展開地域 29都道府県(2016年度23都道府県) 海外拠点(中国)
●チーム数 9チーム(2016年7チーム)
●パトランメンバー数 1,000人(2016年700人)

2018年3月31日時点

活動成果

2017年度活動人数

13,913人  157%

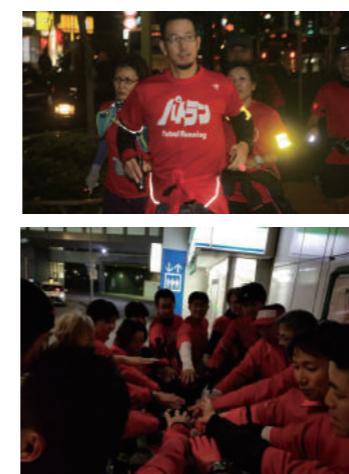
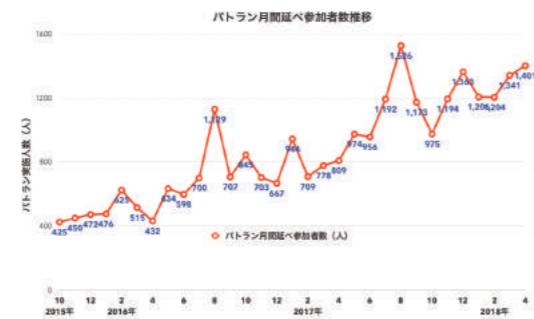
全国各地での1年間のパトラン実施人数の総計です。パトラン登録人数の増加に伴い前年と比較して157%増加しました。

これまでの累計

集計を開始してからの30ヶ月間の合計パトラン実施人数です。

20,655人

2016年度活動人数
8,846人



活動成果

2017年度の全国各地のパトランによる人助けや犯罪抑制のための報告事項などをまとめています。

救命／人助け

8
件

不審人物・車両

5
件

交通

3
件

火事

1
件

12 / 27

報告した事項についての事後に実施が完了していたものは12件確認できました。(対象: 不当投棄、街灯消灯、交通の27件)

交通事故現場に遭遇し、人命救助の対応や高齢者の転倒、路上で倒れている人の対応などを実施しました。

公共施設の女子トイレにいた不審者の通報や校区内で目撃された不審人物の通報などを実施しました。

路上に落ちている1メートル大の投棄物撤去のため通報、道路の陥没など道路上での異変について対応しました。

建物より煙が出ていることを発見し119番への通報と非常階段から降りてくる人たちの誘導を行いました。

事故のまとめ

事故現場での救助や路上で倒れている人への対応など人命に関わる事案に遭遇する場面が多くあります。そのためパトランメンバーには迅速な対応が求められます。件数が最も多い不法投棄は、回収が容易なものからごみが溜まって周囲の住民に影響が出ているようなものまで様々です。警察や行政との信頼関係を築き、協力しあえる関係性づくりが不可欠です。



不法投棄

16
件

街灯切れ

6
件

まちの異変

1
件

粗大ゴミの投棄や河川に投棄された大量の自転車の回収のために行政への報告などを実施しました。

路上の街灯の電球切れを発見した場合に行政へ報告を実施しました。

池で鯉が大量に不自然に浮き上がっているのを発見し行政へ報告しました。

パトラン事務局より挨拶

2017年度のお礼とご報告

2017年はパトラン全体にとって大きな飛躍を迎えることができた1年となりました。初めて大阪マラソンの寄付先団体に選ばれました。に始まり、マニフェスト大賞の受賞、パトランでは29の都道府県でおよそ1,000人が登録し、チームの数は全国で9つに増えました。2013年に5人で始めた当初はこんなにパトランが大きく広がるとは夢にも思わなかったことです。これからもパトランJAPAN一丸となり、地域の安全づくりを推進し、犯罪なき世の中の実現に向けて奔走していきます。



立花 翔平



時安 里江



松田 愛子



高堂 大輔



吉田 真二



パトランJAPAN
チームの主な行事

5月 松戸チーム1周年記念式典
宗像チーム300回達成

8月 パトラン強化月間スタート
北九州チーム200回達成

10月 伊丹チームスタート
北九州チーム折尾地区スタート

11月 マニフェスト大賞優秀賞受
大阪マラソン開催

1月 京都チームスタート
古賀&福津チーム100回達成
西尾チーム1周年記念式典
第8回大阪マラソンチャリティ寄付先団体に選定

3月 北九州スマイルFUNRUN開催



2017/11
OSAKA MARATHON

2017年度の大阪マラソンチャリティ寄付先団体に初めて選出されました。チャリティカラーは紺色。同じ紺色のプール・ボランティアさんとタッグを組み、大阪マラソンのPRランイベントやチャリティランナー向けセミナーなどを開催しました。また大会前日と大会当日には懇親会を開催し、全国各地のパトランメンバーの繋がりを強化できました。

パトラン強化月間 2017/8

毎年8月にパトランを強化することで街頭犯罪の抑制を図る取り組みです。8月10日はパトランの日と定め、全国一斉にパトランを実施しています。2017年は3年目となり、パトラン実施人数や時間、警察や市民団体とのコラボなど取り組みの幅も広がりました。

マニフェスト大賞 2017/11

第12回マニフェスト大賞でパトランの取り組みが優秀賞を受賞しました。過去最多となる応募で2597件の中でコミュニケーション戦略賞の5件の中に選ばれました。主催の北川正恭さんと撮影。



伊丹チーム スタート

関西で2拠点目となる京都チームがスタートしました。



京都チーム スタート

関西で2拠点目となる京都チームがスタートしました。



パトランチームの状況

関西初の伊丹と京都チームがスタート!

2013年にパトランを開始した当初は、福岡県宗像市ののみの活動でした。それから2年あまりは宗像のみでの活動でしたが、2015年にYOUNG JAPAN ACTIONで大賞を受賞し、浅田真央さんがパトランに参加したことをきっかけに徐々に全国各地でメンバーが増え始めます。2016年では関東エリア、2017年は中部、関西に広がりました。

各チーム代表より



NEW
伊丹チーム
増井 宏倫



NEW
京都チーム
鳥本 光照



2017年10月1日にチームとして9名で始動しました。昨年度の間で、多くの新聞・ラジオ・テレビに取り上げて頂いたり、伊丹警察から防犯活動の委嘱を受けたりと悩ただしくも伊丹市に密着した活動ができ初年度目標としていた活動基盤を築くことができました。今期の目標は初年度築いた活動基盤を崩すことなく、今以上に伊丹に密着できるよう定例コースの追加とチームのサポーターが増えるよう活動していきます。



栃木チーム
上武 順子

栃木県に「パトラン栃木チーム」が発足してはや3年目となりました。メンバーも増え定期的な活動も定着し地域の安心安全を念頭の元に活動することができます。今期の目標として地域のボランティア団体等との連携協力、サポート活動など活動範囲を広げていきたいと思っています。



古賀&福津チーム
溝口 憲一

古賀&福津チームは、来れる時に来れる人が気軽に参加しやすいアットホームなチーム作りを心かけてきました。最近ではメンバーも定着してきており、ルートリーダーをやりたいと言ってくれる方も!今後は、ルートリーダーを中心に古賀市、福津市の防犯のためにミーティングなども定期的に行い、実のあるパトランが行えるよう意識してやって行きたいと思います。



松戸チーム
竹内 誠二

2017年はチームとしては、右肩上がりのメンバー増で飛躍の1年となりました。2018年の松戸チームテーマは「初心」です。「パトランとはなんぞや」ということをそれぞれが再確認し、住んでいる地域の防犯の一助になるよう仲間と手を取り合いたいと思います。松戸を仲間達と住み良い街にするために。



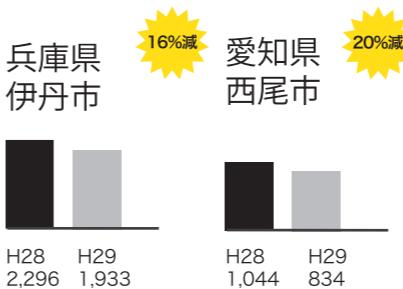
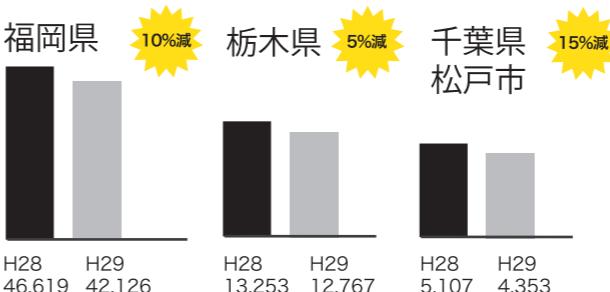
チーム活動地域での犯罪数の推移

パトランチーム活動エリアでの2017年度の刑法犯の認知件数の推移です。
パトラン実施エリアに至っては、日本全体の減少率(8.1%)を大きく下回っています。

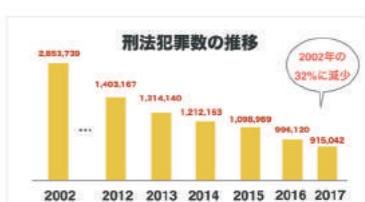
日本全体

915,042件 (2016年度 996,120件 増減率▲8.1%)

2002年をピークに刑法犯の認知件数は年々減少しています。件別では東京が最も多く、減少率では大阪が12.4%と大きくなっています。



京都チームは発足が2018年1月のため掲載しておりません。



パトランチームの取り組み

パトランを展開する地域の状況や課題はそれぞれ違います。各チームは地域の状況に合わせ趣向を凝らした様々な取り組みを展開しています。2017年度より開始した主な取り組みをご紹介します。

警察合同パトラン

伊丹チーム

伊丹の合同パトランは、毎月3回(8・18・28日)警察の方々も毎回参加していただいている。現在、伊丹警察署員36名がパトランに参加してくれていますが、1回あたり平均10名ほどの警察署員が参加してくれています。取り組みのきっかけは、チーム伊丹が関西の情報番組「ちちんぷいぷい」で紹介された事がきっかけです。番組をみていた警察署の方から連絡をいただき、委嘱と署員のパトラン参加が決まりました。

【菅原さん】パトランと警察が日々協力して活動している事を広めると、犯罪者の意識の中にパトラン = 警察という認識を植え付けられパトランの犯罪抑止力が向上すると思います。パトランが積極的に警察との活動を広める事で警察の活動を透明化でき、一般人の安心と犯罪の抑止につながると考えます。

【岩佐さん】日常から地元警察署の方と交流を持つことにより常に情報連絡の体制を築く事が出来必要な時に連携を素早く的確に行える状態を保つことが出来ています。もう一つ大切なことは、警察署の方と日常の交流からとても身近な存在になったことです。



パトレボの運営

松戸チーム

パトレボは、松戸チームのメンバーがパトラン中などで見つけた道路等の破損個所を投稿し、その情報をもとに松戸チーム内で構成するパトレボ事務局がしかるべき行政窓口に連絡し修繕してもらう取り組みです。見つけた道路の修繕等をお願いしたい時は、①日時②タイトル③住所④レポーター⑤内容⑥写真⑦マップ画像(任意)をメンバーの共有ページに掲載。それを受けたパトレボ事務局が行政窓口へ修繕要望する形で運用しています。



防犯講習会

北九州チーム

北九州チームが実施する防犯講習会は、小倉警察署、北九州市役所、地域の防犯パトロール隊など様々なセクターが集まり、防犯についての知識やお互いの取り組みを共有し、地域一丸となって安全づくりを進める取り組みです。地図を広げて犯罪状況を確認したり、合同パトロールも実施します。



1回あたりの講習会には40人を超える人たちが集まります。

チームの展開目指して活動中

東播磨チーム(兵庫)

チームの設立を目指し、兵庫県の東播磨で月に1~2回合同パトランを実施してます。兵庫県内でも人口当たりの犯罪件数の多い加古川市を含む地域でのパトラン活動を通して、少しでも犯罪抑制や暮らしやすい街となるよう貢献したいです。



西川 雅彦さん

<県別刑法犯認知件数>

1.東京	125,251(▲7%)
2.大阪	107,023(▲12.4%)
3.愛知	65,511(▲6.8%)
4.神奈川	63,628(▲7.7%)
5.埼玉	63,383(▲8.7%)
6.千葉	52,974(▲7.5%)
7.兵庫	50,821(▲4.4%)
8.福岡	42,126(▲9.6%)

認定パトランナー



認定パトランナーはパトランJAPAN公認のパトランナーです。一定の基準をクリアすることで認定されます。2017年度で19人の認定パトランナーが誕生しました。

No.12 古居 英隆	No.13 高山 認之	No.14 宮田 賢	No.15 木村 恵	No.16 堀口 有祐
No.17 河間 信介	No.18 大學 幸枝	No.19 白沢 雄司	No.20 萩原 竜治	No.21 柳沼 香織
No.22 鳥巣 健太郎	No.23 山崎 康成	No.24 島津 明香	No.25 増井 宏倫	No.26 山瀬 有理
No.27 福田 善和	No.28 播磨 考輔	No.29 竹内 久美子	No.30 川畑 信章	



▼一覧はこちら



認定パトランナーアンタビュ



「パトランで目指す二刀流」

大谷選手が日ハムで二刀流活動中に認定パトランナーとなりました。僕の目指す認定パトランナーは「走って防犯」、「星屑拾って美化」、「仲間を増やしてエンジョイ！」です。映画とかで見るスラム街ってなんとなく落書きや散らかり放題の街=犯罪というイメージなんです。パトランをしている時、とにかく気になるのは夜であればチカチカした街灯、散乱した星屑、不法投棄、至る所にある落書きは特に注意して見るようにしています。

ボクの目指す二刀流とは「防犯を美化に結び付けた街」に出来たら良いなと感じています。松戸をマッドシティなんて呼ばれないように全国の仲間が松戸をパトランメッカになるように仲間と共有したいと思います。

白沢 雄司さん
YUJI SHIRASAWA



NEWS パトラン全体 メディア実績

新聞
36回

テレビ
10回

ラジオ
6回

WEBメディア
3回

<2016年度> 新聞8回 テレビ4回 ラジオ1回

■新聞

三河新報・愛三時報(4/7)「春の交通安全」西尾チーム
朝日新聞(5/1) 松戸チーム
千葉日報新聞(5/2)
東京新聞(5/2)
毎日新聞(5/2)
千葉日報新聞(5/16) 松戸チーム
毎日新聞(5/29) 北九州チーム
毎日新聞(6/16) 北九州チーム
千葉新聞(6/25) 松戸チーム
毎日新聞夕刊(6/26) 松戸チーム
毎日新聞(7/3) 北九州チーム
愛三時報(7/4) 西尾チーム
三河新報(7/5) 西尾チーム
三河新報(7/13) 西尾チーム
毎日新聞(8/3) 代表 立花祐平
三河新報・愛三時報(8/11) 西尾チーム
毎日新聞(8/14) 北九州チーム
読売新聞(8/23) 愛知県成瀬さん
毎日新聞(9/25) 北九州チーム
毎日新聞(9/28) 北九州チーム
日本経済新聞(10/2) 伊丹チーム
毎日新聞(10/15) 「発足2周年」北九州チーム
毎日新聞(10/21) 「1万人の防犯パトロール」北九州チーム
読売新聞(12/14) 「地域の味方パトランナー」
読売新聞(12/26) 「パトラン官民一緒に」伊丹チーム
三河新報(12/27) 西尾チーム
共同通信社(12/31)パトランJAPAN
愛三時報(1/5) 西尾チーム「1周年」
毎日新聞(1/8) 松戸チーム「松戸七草マラソン」
三河新報・愛三時報(1/16) 「西尾チーム1周年」
毎日新聞(1/26) 「防犯講習会」北九州チーム
西日本、毎日、朝日(2/18) 「増田明美さんパトラン」北九州チーム
新聞&テレビ(3/22) 「北九州スマイルFUNRUN!」北九州チーム

■テレビ

J:COM (5/8) 松戸チーム
NHKジャーナル(5/16) パトランJAPAN
千葉テレビ 「NEWSチバ」松戸チーム
RKBテレビ「今日感テレビ」(7/5)パトランJAPAN
NHK「おはよう日本」(9/26) 北九州チーム
毎日放送「ちんぶいぶい」(10/18) 伊丹チーム
RKBテレビ「旬感北九州」(11/22)北九州チーム
NHK神戸(3/7)パトラン伊丹チーム
NHK「ニュースブリッジ北九州」(3/16)「ニュース845北九州」北九州チーム

■ラジオ

J-WAVE「平井理央のWONDER VISION」(4/2)松戸チーム竹内代表
FM KITAQ(10/12) 北九州チーム
関西ABCラジオ『武田和歌子のびたっ♪』(10/30)伊丹チーム
JFN PARK「Day by Day」(1/15)代表立花が出演
ラジオMID FM「エレノア・シーのHAPPY SMILE」(3/7)西尾チーム
「FMヨコハマ ちょうどいいラジオ」(3/20) 代表立花が出演

■WEBメディア

MELOS (6/20) パトランJAPAN
WEBメディア(12/1)大東京防犯ネットワーク
WEBメディア(1/11)「LOCAL GOOD KITAQ」北九州チーム



メンバーインタビュー

Nagoya

岡田章さん×細井紀子さん×成瀬訓美子さん

愛知県の名古屋を中心にパトランに取り組む3人にお話を伺いました。



みなさんそれぞれがパトランを始めたきっかけについて教えてください

岡田 パトランJAPANが立ち上がって間もない頃に、SNSのランニンググループでパトランのことを知りました。ボランティアに興味を持っていたこともありこれだ!と思って登録しました。

細井 私もそのグループに入っていて班長(岡田さんのあだ名)がパトランTシャツで投稿していたのがきっかけで知りました。最初は怪しい団体じゃないかと思いましたね。

成瀬 私は岡田さんの投稿を見て「この人なんだろう」と思ってました笑 その後班長に誘われてパトランに登録することにしました。

岡田 怪しいと思ってたんですね。笑 それぞれ住んでいる地域は微妙に遠いので、個人でのパトランがメインですが、月に1度、持ち回りでそれぞれの住んでいる地域を3人で集まってパトランしています。

パトランをはじめて変わったことはありますか?

細井 Tシャツを着ることで交通ルールを守る意識が強くなりました。どこで人に見られているかわからないので、誰に見られても恥ずかしくない行動をとる意識が生まれているかな。

岡田 交通ルールはありますね。当たり前ですが、普段車に乗っていても信号が黄色になるとしっかり止まるようになりました。

成瀬 私は街の変化に気づくようになりました。意外にも空き家の件数が増えていることにびっくり!あと「もし自分が犯罪者だったらこうするかも」という視点で街を見渡すようになりました。

岡田 私もパトラン中じゃなくても無意識で街の状況を確認する癖がつきました。地域の特性や犯罪の現状を知って街の安全について考えて活動を続けることが大事だと思ってやっています。

細井 まちのごみにも目がいきますよね。私はとにかくごみがポイ捨てされているのが嫌でパトラン中も気がつけば拾ってます。

成瀬 街にごみが溢れて汚れていると犯罪を誘発しますからね。犯罪を起こさせない環境づくりも大事ですよね。

パトランに取り組む中で安全な地域を作るために何が必要だと思いますか?

成瀬 挨拶がパトランの基本かなと思っています。以前は挨拶の返答を気にしていたんですが今は気にならないなりました。一方的でも挨拶をずっと継続して続けていると、最初は反応がなかった若い子たちからも挨拶が返ってくるようになります!

細井 すごい! 挨拶攻撃! 笑

岡田 地道に継続することが大事ですね。細井さんも駅の改札に立て挨拶してましたよ。

細井 あれは思いつきで笑 下向いて歩いている人たちが多いから上に向いてもらおうと思ってやって見たんです。

岡田 すごい勇気ですよね、なかなかマネはできない笑 僕は挨拶が仕事にも影響しています。会社でも元気よく声かけることを意識しています。実は会社の先輩で挨拶を全くしない人がいて…いくら挨拶しても返ってこないから、僕も意地になってひらすら挨拶し続けたんです。すると1ヶ月後にその先輩から挨拶が返ってきました。

細井 おおーすごい!

成瀬 挨拶ひとつ見て、あっここの人は出世するなっていうのがわかりますよね

細井 うんうん、わかるわかる。しっかり挨拶してくれる人は会社でもこんな感じなんだろな~とわかりますよね。

挨拶って大事だ!

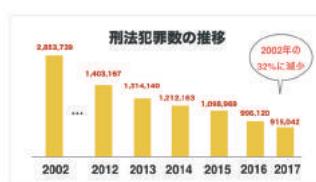


街頭犯罪がゼロの地域の実現に向けて

■ 犯罪数は2002年の3分の1に

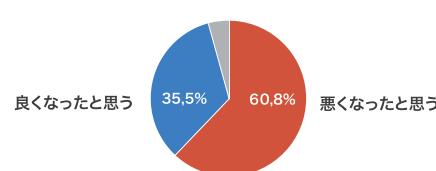
2017年の日本全体の刑法犯の認知件数は91万件でした。これは2002年と比較するとおよそ3分の1となっています。減少の背景には、防犯ボランティア数の増加や警察の取り組み強化、監視カメラの増加などのテクノロジーの発展が関係していると考えられます。

しかしながら、それでもまだまだ多くの犯罪が昼夜問わず起きているのが現状です。何の罪もない子どもが犯罪被害に遭う事件も後を絶ちません。警察や行政に全てをまかせることは現実的ではなく、地域での防犯力を高めることが安全な地域づくりに向けて必要不可欠です。



■ 乖離する犯罪数と体感治安

人々が感じる安心感（体感治安）は犯罪の減少率に伴って改善されている訳ではありません。内閣府の「治安に関する世論調査」によると、「ここ10年間で日本の治安はよくなったと思いますか。それとも、悪くなったと思いますか」との質問への回答は、「悪くなったと思う」が、60.8%と半数を占めています。なお、「よくなったと思う」は、35.5%です。その反面、日本は安全だと思うか？との問い合わせに対してはおよそ80%の人が安全だと思うと答えています。これは海外諸国と比較すると日本の安全性を感じているが、日本自体は犯罪は過去と比較して多くなっていると感じる人が多いことを示しています。



▲H29警察庁犯罪統計資料より

寄付で支援する

パトランのさらなる発展と継続のため活動のご支援をお願いいたします。年単位で継続的に応援していただくサポーター、もしくはご自由な額での寄付をお選びいただけます。

●年間サポーターで活動を継続的に支援する

個人サポーター

3,000円/年 6,000円/年
9,000円/年 12,000円/年
24,000円/年

団体サポーター

50,000円/年
30,000円/年
10,000円/年

サポーターになると

- ・サンクスレターの送付
- ・活動報告書の送付
- ・パトラングッズの送付

企業協賛

企業の社会貢献の取り組みとして改革プロジェクトの活動へのご協賛をお願いしております。
詳しくは団体までお問い合わせください。

○今回の自由な金額で支援する

〈お申し込み方法〉



以下QRコードを読み込み
WEBサイトでお手続きください。



お申し込みは以下の方法でお手続きいただけます。



以下の連絡先まで①氏名②ご住所③ご連絡先をお伝えください。

**information@patorun.com
090-2398-7390(担当:立花)**

〈お支払い方法〉 クレジット決済と銀行振込の2つの方法があります。

クレジット決済

こちらのフォームより
ご支援金額を選択して
必要情報をご記入ください。



銀行振込

下記口座へお振込ください。

ゆうちょ銀行 支店:七四八
口座番号:普通 5835622
口座名義:NPO法人 改革プロジェクト [トクヒ]カイカクプロジェクト



NPO法人改革プロジェクト
パトランJAPAN事務局
〒811-4146
福岡県宗像市赤間3-5-1-204

E-mail
fadebook
Webサイト

information@patorun.com
www.facebook.com/npo.kaikaku/
http://patorun.com/

発行
2018年7月1日